

品人 店技

～ファイル1～

商工ニュースよこて5月号から新コーナーがスタートしました。より多くの会員事業所さんをいろんな角度から御紹介する企画です。出来るだけ長く続くよう努力しますので温かい目で見ていただき、取材の際はご協力賜りますようお願い致します。

有限会社 シスコ

横手市朝日が丘四丁目9-2
TEL 33-6050 FAX 33-6056
E-mail: andnaow@jcomty.com

創 業 / 昭和60年2月
資 本 金 / 900万円
従 業 員 数 / 12名
営 業 時 間 / 9:00～17:30
定 休 日 / 基本的に日曜日
業 務 内 容 / 月刊あんどなう、各種広告、
人材派遣サービス、イベント企画



プロフィール
高橋 茂
有限会社シスコ 代表取締役
昭和31年3月 十文字町生
趣味:百姓のまねごと

おじやま致します。

一步事務所に入ると、社員の方々はほとんどが取材のため外出されていて、聞こえてくるのは社長さんの電話で話している声と残った社員の方々が打つパソコンのキーボードの音だけ。

社長さんの電話も終わり早速お話を聞かせていただきました。ありがとうございます。

いえいえ。もし、「月刊あんどなう」のこ

とにかいくいろいろやりましたよ。

座右の路は？

「人事を尽くして、天命を待つ」です。二十年この仕事をしてきて何度も大変なことがありました。だめだと思った時に、後これ以上出来ないと思うほどにやりつくせば、手伝ってくれる人などの何かしらの助けが出てくるということは何回も経験しましたからね。

この仕事を通して感じたことは何ですか？

やはり「人」ですね。人で苦しみ、人で助けられたし、裏切りもありました。この仕事自体が人で始まって人で終わる仕事なので人の可能性というのを一番感じます。

そういう中で「ヒューリッチ」という会社が生まれたんですか？

ヒューリッチ自体は厚生労働省の許可事業で、人材派遣会社として紹介専門にやっているのは秋田県では唯一なんです。公的などころでは出来ないより高いレベルの事業をやっていくのを目的にしており、その中でカウンセリಂಗや人材教育などを行って企業とのミスマッチを無くしていく会社なんです。

そんな社長さんは、子供

新企画第一回は県南のタウン情報誌として若者の必須アイテム「月刊あんどなう」を出版されている(株)シスコさんにおじやまして代表取締役の高橋茂さんにお話をうかがいました。高橋さんは取材のプロ。そんな方を取材する?! 足下にも及ばない商工ニュースよこて編集部は、ちゃっかりインタビューのノウハウを伝授してもらおっかなあなんて下心も…。

とを聞きたいのなら、編集長を呼ぶけど…。

いや、今回は、「あんどなう」だけではなく、社長さんのことや会社のことなどもお聞きしたいと思っ

て。ああ、そういうことが。わかりました。(笑)では手始めに興味は何でしょうか？

仲間と一緒に畑仕事することです。実家の十文字で畑を借りて、収穫ごとに仲間と飲み会を開くのが楽しみですね。初めからこのお仕事だったんですか？

いえいえ。元々は、測量土木設計関係の仕事をしていました。役所にも出向していたこともありました。長男なので、地元に戻ってきたのですが、地元でも同じような仕事をしていった時期もありました。

では、どうして今の仕事を始めたのですか？

街が面白くなるには、行政だけでは限界があると前の仕

事をしているときに感じました。街が面白くなければ自分も面白くない。友人と話しているときも妙にさめているところがありました。私自身は熱い男なんですけどね。(笑)そんな時に情報誌を作りたいという方に出会いまして、その方は映画だったのですが、地域の情報が入っている方が面白いと考えタウン誌を作ることにしたのです。しかもボランティアではなく、仕事としてやりたかったんです。

県南だけにしたのはなぜですか？

全県版は、前からありましたが、県南の場合は掘り出せば、みんなが気付いていないだけでいろいろと楽しい情報もあるし人もたくさんいるからです。

この仕事を始められた頃は苦労とかあったんですか？

最初は五人で始めたのですが赤字続きでした。また測量土木設計の仕事もしていたので、その給料がそのまま従業

のころは何になるのが夢だったんですか？

子供の頃は車が好きで、車のデザイナーになりました。その頃はテストの裏になんとも見ないで自動車のデザインが出来たのですよ。(笑)その後テレビの仕事がやりたいとずっと思った時



期があったんですが、高校三年生の時、先生から進路について話があったとき、その仕事では地元に戻ってくるんが出来ないと言われまして…。当時は、テレビの仕事は秋田ではほとんどありませんでしたからね。地元に戻ってきたいと考えていたので違う仕事選はなくてはならなくなり、測量の仕事を選んだのです。

そして、今の仕事につい

たんです。では、逆に将来的にやってみたくはないですか？

会社の理念が「街を面白くしていく」なので、それを目指していきながら個人の自己実現と会社の発展をライフロークにしています。これからは、どんどんIT化していく、大企業と中小企業の差が無くなってくると思うんですよ。だからこれからは、人間で差がついていくと思っています。ヒューリッチは、人と企業を両面からサポートしていくものです。そして、これはあくまで夢でしかないのですが、「人と仕事の」コロシアムを作りたいと考えています。一つ一つの街でいろいろな仕事について様々な経験をしながら自分を成長させられる空間を作りたいと考えています。これからは「癒す」だけではないので競争して自分

を「成長」させなくてはならないと思います。私自身も五十五から六十歳くらいまでに大学に入って臨床心理士や産業カウンセラーなどの資格も取りたいですね。

それはすごいですね。まだまだ自分も成長しないと！というわけですね。今日は本当にありがとうございました。

基本的には毎日面白いですが、この仕事のいい所は冬が

員の給料になるようなこともありました。当時のことを知る人からは、いいところ三ヶ月くらいしか持たないだろうと言われたこともありました。が意地でも三年は必ず続けてやろうと決めていました。それに出身は十文字町で、横手の人にしてみれば「よそ者」でしたから頼る伝手もありませんでしたしね。会社としてどうにか形になるまで、五年かかりました。

短いつとです。十二月などの冬になる頃にはもう二月三月などの春について、どうい紙面にしていくなか考えなければなりませんからね。後にはですね、面白いところはいろいろな経験が出来ることですかね。パラグライダーに乗ったし、カヌーにも乗ったし、ウルトラライトプレーンにも乗りました。他にも「あんどなうハウス」を今の「にしき茶屋」のところに作って、地元の有名人を呼んで話をしてもらったり、ライブをしたり

前は、この仕事をしていて面白いことは？

ありますよ。土木設計の仕事は労働集約型というか、本作りと似ていると思います。実際に現場に行って測量し図面を作る。そして一部でも図面を変更するとなると、全て変えなければならぬところなどは紙面の編集作業と同じですね。

では、この仕事をしていて面白いことは？

基本的には毎日面白いですが、この仕事のいい所は冬が

